

大学名	富山大学
-----	------

第67号 特集テーマ「大学と新しい学び」

表題	地域と連携したプロジェクト授業による新しい学び
----	-------------------------

取組概要

富山大学は、3つのキャンパスに9つの学部がある総合大学である。この中で、地域と連携した「プロジェクト授業」は高岡にキャンパスを置く芸術文化学部(以下、芸文)から始まった。

芸文では美術、工芸、デザイン、建築、キュレーションなどの領域を専門としている。多様な学生が学び、総合大学におけるSTEAM教育を拡充させるための要となる学部でもある。学部創設時より地域と連携した課題解決や価値創造に授業として取り組んでおり、特定の課題に対して、問題発見及び解決までの過程や手法を実践的に学ぶ授業を「プロジェクト授業」として複数開講している。

「高岡クラフト市場街(いちばまち)」は、芸文が関わっている「プロジェクト授業」のひとつであり、持続的な産学官連携活動が評価され、2022年度の「グッドデザイン賞」(公益財団法人日本デザイン振興会主催)と「ふるさとイベント大賞・大賞(内閣総理大臣賞)」(第27回・一般財団法人 地域活性化センター主催)を受賞している。

この「高岡クラフト市場街」は毎年秋頃に富山県高岡中心市街地で開催するクラフトを軸とした総合イベントであり、高岡市と高岡商工会議所、芸文が連携することで2012年にスタートし、2022年9月の開催で11回目を迎えた。

期待できる成果・評価

「高岡クラフト市場街」には、開催初期から学生が関わっており、学生らの専門分野を活かしながら、まちづくりを実践的に学べる機会となっていたことから、2016年より「プロジェクト授業」へと発展させた。広報活動や印刷物の制作、ワークショップの企画運営、番組制作と、学生が携わる役割は多様に渡り、様々な関係者との協働が必要となる。学生は、実行委員会との協議の中で自らの役割を見出し、実行委員会への提案を経て活動を定めるため、履修にあたっての難易度は非常に高くなるが、学生らのレポートからは実践的な経験と大きな達成感を得ていることがわかる。芸文から始まった「プロジェクト授業」であるが、2022年度からは大学院においても「地域創造特別演習」として取り組みを始めた。

GOOD DESIGN AWARD 2022

高岡クラフト市場街
11年のキセキ？
いや、軌跡。



参考URL

・プロジェクト授業(芸術文化学部WEBサイト)

https://www.tad.u-toyama.ac.jp/feature/education/education_detail02

・高岡クラフト市場街2022

<https://ichibamachi.jp/>